



埼玉県/富士見市 荒川、ビン沼川合流点で鯉を狙う

武井昭司
(44歳)

釣り場の特徴

埼玉県の富士見市を流れるビン沼川と荒川の合流点は鯉の魚影が濃く、ヘラブナ、マブナ、ウグイ、ソウギョ、レンギョなどもよく釣れます。鯉は40〜70cm台が平均でコンスタントに釣果が期待できます。

ビン沼川は荒川に比べて水温が高く、流れも穏やかなため、鯉はもろろんソウギョ、レンギョまで居着いているようです。しかし、ビン沼川はヘラブナ釣りの人が多く、野鯉釣りとしての趣きに欠ける面もありますので、私は荒川とビン沼川の合流点によく竿を出します。

ビン沼川吐き出し口の浅瀬と荒川流心との中間のカケアガリがポイントで、朝夕の時間帯がよく釣れます。昨年の5〜6月にかけて70cm台を1日10本釣り上げたこともあります。

私のタックルと仕掛け

竿は磯竿4号、5.3m。リールは大型のスピンングリールにミチイトはナイロン8号を使用。オモリはコイン型オモリ20

とができます。

過去に数回、荒川秋ヶ瀬橋下エリアで80〜90cmクラスの鯉を釣り上げたことがあります。しかし、「巨鯉」に「鯉にこれだ!!」とガリッパワターを少量加えただけのシンプルなお餌でした。

今回「鯉のぼり」をモニター用に送付していただき、初めて使用しましたが、高い集魚効果を感じました。エサの投入を重ねていくごとに鯉のモジリが頻繁に現われたので、今後、もっと使ってみようと思います。

ベースエサに「鯉のぼり」をブレンドすると、ダンゴエサの感触を柔らかく仕上げるすることができます。集魚効果が高い分、ジャミヤエサ取りが多い時は「鯉のぼり」のブレンド比率を少なめに使用します。

私はエサを投入してから1時間程度でのアタリを前提とするので、鯉が食い込みのいいように軟らかめにブレンドします。

私は、マルキューの配合エサをいろいろ試して鯉釣りを楽しみたいと思います。

〜25号。先糸PE8号15cm、ハリスPE6号7cm、鯉バリ16号、4本の吸い込み仕掛けです。

エサ

私がよく使うエサは「巨鯉」4+、「タニシ吸い込み」1〜2の割合のブレンドです。それに集魚材の「鯉にこれだ!!」を加えます。くわせは「手づくり芋」を7〜8mm角に切ったものか、「くわせコーン」を使用します。その他に「巨鯉」5+、「鯉のぼり」1〜2のブレンドパターンも使います。

その時の状況によって「鯉パワー」「鯉将」「鯉武蔵」のいずれかを1〜2の比率で加えます。またエサ持ちをよくする場合やエサの打ち始め時点で「スーパー鯉むぎ」や養鶏用飼料などを加える場合もあります。

「巨鯉」は私の最も使用頻度と使用量の多いエサです。エサ持ちが良いので、じっくり時間をかけて大物のアタリを待ちたい時にも安心して使えるエサです。また他の配合エサとブレンドしやすく、ダ

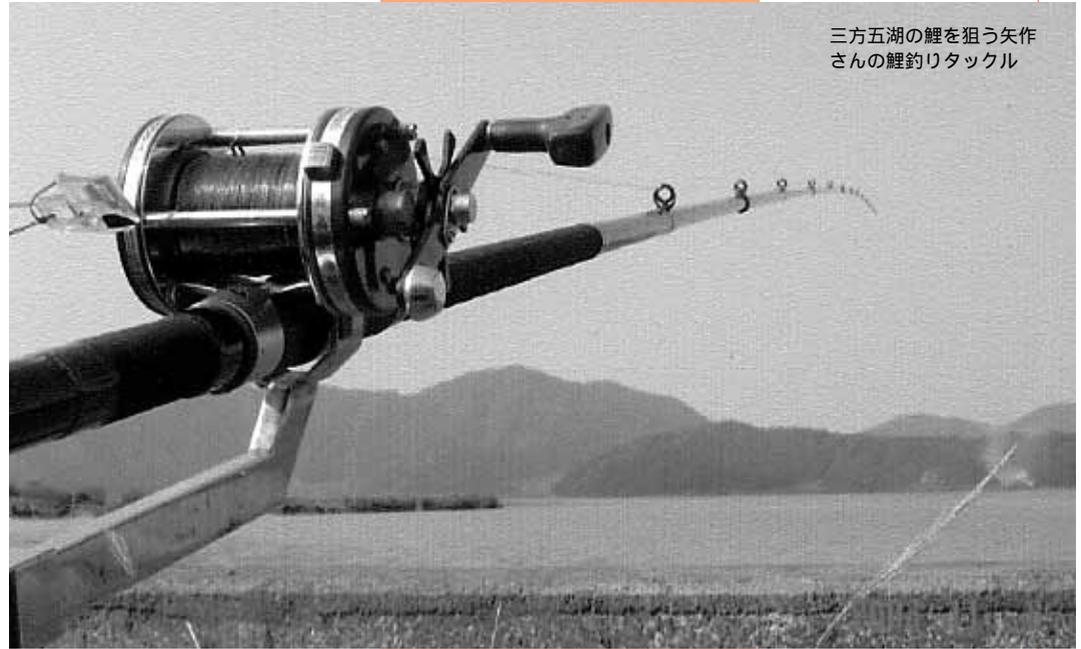
ンゴエサとしてのまとめ具合やバラケ具合も良好です。

買い置きのお餌を使い切ってしまった時に「巨鯉」を単品で使用することもあります。単品でも十分に釣果を得るこ



荒川、ビン沼川合流点のポイント

三方五湖の鯉を狙う矢作さんの鯉釣りタックル



福井県/三方町
三方五湖の鯉釣りを楽しむ
 矢作 忍
 (33歳)

釣り場の特徴

三方五湖は福井県的美浜町と三方町にまたがる5つの湖の総称で、若狭を代表する景勝地です。「三方湖」は淡水、「日向湖」は海水、「水月湖」「菅湖」「久々子湖」の3つは海水と淡水が混じる湖です。この5つの湖の中で鯉が生息して釣り人で賑わうのは「三方湖」「水月湖」「菅湖」の3つです。

鯉が釣れる3湖はいずれも水際から5〜10m地点に大量の藻が生えている場所が多く、この藻の切れ目を狙ってダンゴを打ちます。三方五湖は汽水域なので潮の干満による水位の変化を考慮しなければなりません。過去の実績では下げ潮の方がアタリが多いようです。私が釣った鯉もほとんどが下げ潮の時です。

三方五湖周辺は梅林や畑などの私有地が多く立入り禁止内での釣行は絶対に行わないこと。鯉釣りを長く楽しむためにもゴミは必ず持ち帰り、漁協や地元の人に迷惑をかけないように注意しましょう。

*三方五湖の鯉釣りは鑑札が必要です。
 年間6000円、日釣券500円、竿は

のベースエサで83cmを釣りました。

私はエサ交換のサイクルを6時間としています。従ってバラケ重視よりジャミエサ取りが多い時に長くエサ持ちする粒子の粗い「巨鯉」でバラケの悪いエサを作って使っています。「巨鯉」は粒が荒いので握れば握るほど、きつく硬く締り空中分解もほとんどない画期的な信頼できるエサで、私が一番好きなエサです。

鯉を寄せるために「鯉にこれだ!!」を少々加えて集魚力をアップさせますが、ジャミのアタリが多い時には控えます。バナラエッセンスを配合すると早くアタリが出るらしいと言つので、それに変わるものとしてヘラエサの「赤へら」を少し加えたら香りが良くなりました。またベースエサを多めの水で練り、「鯉将」やサツママッシュなどを入れて締めるとジャミの攻撃を受けにくくなります。

その他の配合エサで良く使つのは「鯉武蔵」「鯉のぼり」「タニシ吸い込み」などです。

くわせには「手づくり芋」を1cm角に切ったものを2本バリに付けます。

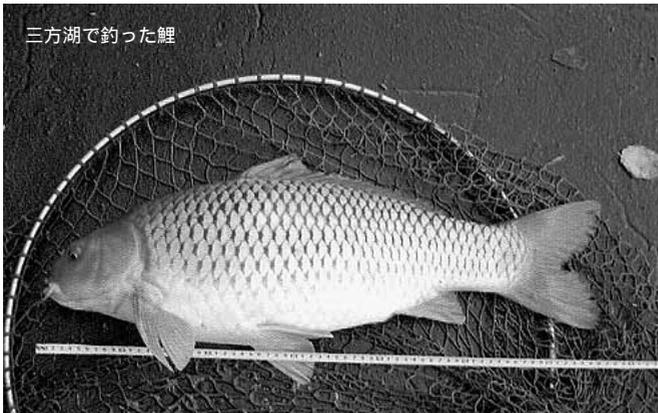
4本まで、ハリは伊勢尼15号以上(稚魚小型魚の保護)仕掛けハリの本数は3本以下で市販の吸い込み仕掛けは禁止です。
私のタックルと仕掛け
 竿は石鯛竿、5・25m。リールは両軸リールにミチイトはナイロン10号を使用。オモリは亀型オモリ30号の捨てオモリ仕掛け。先糸PE8号(15cm)、ハリスは巨鯉ハリス8号(25cm)、くわせバリはソイバリ18〜20号の大バリ2本を使用する。そのハリをダンゴに包み込む仕掛けです。

エサ

私がよく使うベースエサは粒子が粗く底残りする「巨鯉」で、その効果を倍増させるために「スーパー鯉むぎ」を配合します。さらに集魚効果とエサ全体の締りを考慮して「鯉将」を加えます。そのブレンドの割合は「巨鯉」3割、「スーパー鯉むぎ」1割、「鯉将」1割です。「巨鯉」をベースにアツペン類を配合し、発酵させたエサが流行したことがあります。発酵エサは容易に作れます。週末の

釣行に合わせ水曜日の夜に仕込んだ発酵エサを金曜日の夜、釣り場でエサ箱のフタを開けると寒い時期には湯気が出るほどの温度でした。私も「巨鯉」を使った発酵エサで90cmオーバーの巨鯉を1日に2本釣り上げたことがあります。

三方湖でも発酵エサではないが「巨鯉」



三方湖で釣った鯉